



## VPDs:Vaccine Preventable Diseases

ワクチン(予防接種)で防ぐことが出来る感染症

感染すること、感染して死亡したり後遺症をおこすことをワクチンで予防

小児は免疫が未熟なため  
高齢者は加齢による免疫力低下や基礎疾患のため  
年齢に応じたVPDsに対するワクチンが必要

(図2)

者は加齢による免疫力低下や基礎疾患のため、年齢に応じたVPDsに対するワクチン接種が必要となります。

そして、生涯を通してVPDsに対するワクチンを接種することを、Life-course immunizationと言います(図3)。

乳児小児期に必要なワクチン、妊娠中に必要なワクチン、思春期・成人期に必要なワクチン、そして高齢期に必要なワクチンがそれぞれあります。これらを接種することは、個人の健康増進のみならず、社会の健康と経済的な利益をもたらす、健康寿命を延伸することが解っています。

ワクチンを接種することは、その感染症から自分を守ることにりますが、それだけではなく社会を

## Life-course immunization ～VPDsに対する生涯を通じたワクチン接種～



人生の中で必要なタイミングで必要なワクチンを接種することは個人の健康増進のみならず、社会の健康(公衆衛生の維持)と経済的な利益をもたらす、健康寿命延伸に貢献!

(図3)

守ることにもなります(図4)。

私たちの周りには、免疫学的弱者の方々が存在します。年齢のためにワクチン接種できない子供たち、持病のためにワクチン接種できない人々が少なくありません。私たちがワクチンを接種することで、免疫学的弱者の方々を含めて守ることが可能となります。このことにも思いを馳せて、ぜひ必要なワクチンを接種して頂きたいと思います。

ワクチン接種を決めるときに大事なこと3つあります(図5)。

信用と説明と共感です。

信用は、かかりつけ医との信頼関係です。説明は、新しいワクチンを接種するためには正確でわかりやすい説明が必要となります。共感、ワクチン接種は自分のためのみならず、周りのため、社会

## ワクチンを打つことは 自分のみならず社会も守る!



(図4)

のためになることに思いを馳せることです。これらのことに納得していただき、ワクチンをぜひ受けてください。

かかりつけ医は、皆様の健康をトータルサポートする役割を担っています。その1つが、ワクチン接種計画と一緒に考えることです。

小児はスケジュール通りに多くのワクチンを接種しなければなりません。HPV等のがん予防ワクチン接種も重要です。また、高齢者も多くワクチン接種が必要となりました。ぜひかかりつけ医にワクチンの相談をしてみてください。

かかりつけ医は親身になって考えてくれます。そして、今後も新たなワクチンが登場する予定なので、ワクチンに注目していきましょう(図6)。

## かかりつけ医は皆様の健康をトータルサポート ～市民皆様のためのワクチン接種計画策定～

コロナワクチン接種時は計画策定を考える良いタイミング

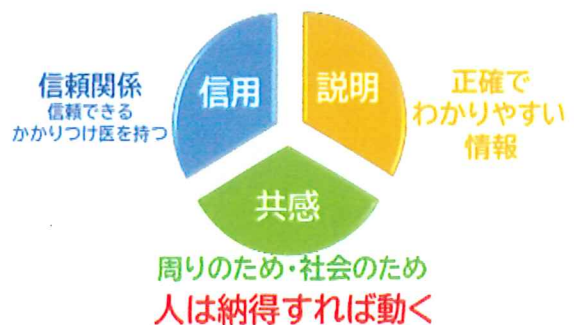
- ★ 小児は予防接種スケジュール通りに
- ★ HPV等のがん予防ワクチンも重要
- ★ 高齢者は以下のワクチンを推奨
  - 新型コロナワクチン
  - インフルエンザワクチン
  - 肺炎球菌ワクチン
  - 帯状疱疹ワクチン
  - RSVワクチン

今後も  
ワクチンに  
注目を!

- NCDsワクチン : I型糖尿病・多発性硬化症・関節リウマチ
- がん予防ワクチン : ヒロリ菌・C型肝炎・メラノーマ
- 感染症ワクチン : サイトメガロウイルス・B型溶連菌 など 今後実用化予定!

(図6)

## ワクチン接種を決めるときに大事なこと



(図5)